



NWS通信第76号

平成29年3月1日発行

春

# NWS通信

Nurse (看護) ・ Well-being (福祉) ・ Special (専門)



## 看護師の仕事について

駒沢看護専門学校 学校長 石塚 信彦

本学の教育目的は、仏教的人間観を基盤としながら、看護実践能力を身に付けて、人間の健康と幸福に貢献できる看護師を育成することとなっています。この中の仏教的人間観とは、人それぞれが考え出すべきものではないかと私は思います。

若い時に読んだ平田精耕さんの般若心経についての本の中に、「幸せは、苦しみの中にあること。苦がそのまま楽であり、楽がそのまま苦である。」ことが書かれています。その言葉は、ロゴセラピーを広めたフランクルの「きわめて厳しい状況でも、また人生最期の瞬間においても、生を意味深いものにする可能性が豊かに開かれている。【夜と霧】という彼の言葉と強く共鳴しているように思います。仏教もフランクルも「ここ」の本源的なあり方を求めるものですが、看護師の仕事とは、このように自分の死生観が問われる、奥が深く、かつやりがいのある仕事なのだと私は思います。

## キャンパス紹介



3学年が70人体制となり2年がたち、校内には元気な声が響いております。

看護師を目指し、現役生だけではなく、社会人経験のある学生も日々勉学にいそしんでいる学生です。実習に出て希望を抱いている人、自己の課題に悩み日々苦慮している人、それぞれに入学当初より人として日々成長し、看護師をめざしています。

学校行事を機に学生同士のコミュニケーションから仲間意識を育み、臨地実習の場を通して自分の看護師像をイメージや、看護研究において自身の看護に対する考えをまとめ、これからも多くのことを学ばなければなど実感しています。

この3年間で看護師としてだけでなく、一人の人間として目の前にいる人に対してどうしていくことが大切なのかを考え行動できることを学習しています。

学生一人一人が将来の医療の一員として、責任ある行動や専門職としての自覚を高めて思いやる心を育てています。





# オープンキャンパス 2016

今年度のオープンキャンパスは、7月23日(土)、8月2日(火)の2日間開催し、98名の皆さんに参加して頂きました。2・3年生の在校生にも協力してもらい、充実したものとなりました。

ミニ講義では在校生が看護技術をデモンストレーションした後、参加者が体験することで入学後の学習内容のイメージができたと思います。また、キャンパスの案内や交流会では実習施設や勉強方法など、より身近な学生生活に関する質問が多くされていました。参加者からのアンケートでは、高い評価を頂きました。協力頂いた在校生の皆さん、猛暑の中、本当に有難うございました。

来年度も受験生のお力になれるよう内容の充実を図っていきたいと思います。



## 参加者の感想

(アンケートより抜粋)

- \*説明してくれた先輩がすごく優しかった
- \*在校生から今後やるべき学習や対策が聞けて参考になった
- \*男子学生が多く、進路の参考になることがたくさんあった
- \*社会人も多いと聞き、はげみになった
- \*勉強大変そうだが、この学校に入りたいと思った
- \*他の学校にはない特徴を知ることができた

その他にも多くのご意見を頂きました。  
今後の進路決定の参考になったという  
意見がほとんどでした。





# 1年間をふりかえって

## 1年生



**松久 希**

(駒澤大学付属苫小牧高等学校卒業)

四月、看護師を目指すという目標を掲げ八期生の同じ目標を持った仲間たちと入学し、何もかもが初めての経験で入学後の一か月は特に緊張の毎日でした。同時に、今までと違った環境で新しい知識を身に着けていく事が大変ながらも充実していました。また臨地実習では実際に患者さんと関わり、病棟で働く看護師の方々を見てとても刺激を受けました。学年が上がるにつれてより看護師の職務の重要性を理解していくとともに、目標に向かい研鑽していきたいと思えます。



**松原 杏夏**

(札幌英藍高校卒業)

不安と期待の入学から1年が経った今、学校行事や実習を通して皆との助け合いや団結力を実感することができた。また様々な看護技術や知識を学んだ。テストが多く辛く感じることもあるが仲間と共に頑張ろうと思える。札幌からの通学も初めは大変だったが、時間の使い方次第で有効に使えると分かった。家族や教員、友人の支えがあるため充実した学校生活を送ることができていることに感謝し、これからも看護師になる夢に向かい努力をしたい。

## 2年生



**竹澤 世羽音**

(倶知安高校卒業)

二年生となり、講義の内容は一年生の頃よりも専門的なものとなった。そのため、習得には苦悩することもあったが、実習に出てみるとそれらの知識を活用し患者様を笑顔にすることができた。自身の学んだことが患者様の笑顔につながる、そのことを肌で感じる事ができ、学ぶことが楽しくなる一年となった。残りの学校生活は後1年。今よりももっともっと多くの患者様を笑顔にする事のできるよう、さらに学びを深めていきたい。



**弘田 絢子**

(北海道大麻高校卒業)

研修旅行では、お寺やディズニーランドと実習前にとても楽しい思い出ができました。成人看護学実習の3クールの実習では、大変なことが沢山ありましたが、自分が立案した計画に沿って看護を実施していくことにより患者さんの状態が変化していく様子から看護をする楽しさを実感しました。とても早く感じられた一年間でしたので、今後は限られた時間を無駄にしないように自分のできることを精一杯し、学習を深めていきたいです。



## 3年生



西原 彩也香

(札幌東陵高等学校卒業)

振り返れば看護学校で過ごした3年間の中でこの1年がとて辛く、苦しい道のりでした。3学年では約半年間の領域別実習、テストや課題、そして国家試験勉強の膨大な学習量で毎日寝る間を惜しんで取り組んできました。

「看護師になりたい。」という気持ちだけを考えて入学した日から今日まで、何度も何度も悩み、たくさんの苦しみを経験してきましたが、同じ辛さを分かち合える仲間と過ごすことで乗り越えていくことができた1年だったと思います。



小野 裕太

(札幌稲雲高校卒業)

最終学年では領域別実習で各分野について学び、中でも印象に残っている母性看護学実習では生命の誕生とそれに携わる家族という場面を実際に感じる事が出来ました。この場面を通して看護は患者様との関係性だけでなく、家族との関係性や、新たに誕生する生命との関わりが重要であるということをより学ぶことが出来たと思います。この貴重な経験を実践に生かし、家族との関係性を大切にした看護師になっていきたいです。

## 年間行事

### スポーツ交流会

6月22日に岩見沢市総合体育館にてスポーツ交流会を開催しました。クラス一丸となって白熱したクラス対抗戦となりました。

午前中はバレーボール・バスケットボール、午後からは台風の目・大縄跳び・フラフープリレーを行い、クラスの団結も強くなり笑顔のあふれる一日でした。





## 戴帽式

10月8日、市内ホテルにて戴帽式が行われました。1年生は少し緊張した表情でしたが、看護の道に進んでいく決意を感じ、とても誇らしくそして頼もしく見えました。この日の思いを胸にこれからも歩んでほしいと願っています。



## 研修旅行

9月9日から2泊3日で研修旅行に行きました。神奈川県総持寺で参禅拝借し、TDLなどの自主研修を行いました。あっといふ間の3日間でクラスメートとの絆もより強くなりました。



## 国家試験補習講義

1月24日より、特別講義が行われました。臨地実習もすべて終了し、国家試験へまっしぐらです。不安でいっぱいですが、看護師への最終関門に向かって、励まし合って頑張りました。





# 在校生から未来の後輩へ一言

## 當摩 光太郎 (札幌英藍高校卒業)

私が考える駒沢看護専門学校の魅力的な点は同じクラスで三年間生活していくことです。70人の中から35人ずつでAクラスBクラスの2クラスに振り分けられることとなります。クラスという枠の中で過ごすことにより同級生との仲の良さがより一層深まりやすい環境ではないかと思います。2クラスで展開して行う授業も多いので他のクラスの人ともすぐに打ち解けることが出来ると思います！



## 山田 優花 (根室高校卒業)

本校は1学年70人で、たくさんの人と関わり、協力しあいながら楽しく学ぶことができる学校です。授業ではグループワークが多いことが特徴で、みんなで意見を共有することで自分とは異なる考え方を知り、学びを深めることができます。先生も優しく、わからないことも聞きやすい環境です。また、スポーツ交流会や遠足などの行事もあるので充実した学校生活を送ることができます。



## 福本 志織 (駒澤大学付属苫小牧高等学校卒業)

専門学校で学ぶことは高校とは違い、座学だけではなく、実習がとても多いです。実習中にも、患者さんの援助や、記録物の作成などやる事が多く、挫けそうなることもありました。しかしその分、患者さんから感謝の言葉や、先生、指導者さんから褒めてもらった時などとても感慨深い気持ちになります。親身な先生方や、同じ夢をもった仲間たちと協力しながら充実した学校生活を送れますよ。



## 鈴木 美咲 (帯広南商業高等学校)

2年間、各演習や実習では大変なこともありましたが、実習担当になった先生方が親身に丁寧に指導をしてくれました。学校の授業では、教員・外部講師の方々が丁寧にわかりやすく授業をしてくれます。クラスは皆、仲が良く学校生活はとても楽しいです。社会人の方もいて、成長できる場だと思えます。他学年と交流できる行事があるため、学校の雰囲気はとても良いです。



平成30年度

## 学生募集要項

出願期間及び選考日時・合格発表



出願形態	試験日	出願期間	選考方法	試験会場	合格発表
指定校推薦入試	平成29年 12月2日(土)	平成29年 11月13日(月) ～ 平成29年 11月24日(金) (当日消印有効)	(1) 面接 (2) 小論文	駒沢看護 専門学校 校舎  〒068-0029 岩見沢市 9条西3丁目1-15	平成29年 12月6日(水) 発送
一般推薦選抜入試		(1) 面接 (2) 国語総合(古文・漢文除く)	平成30年 2月5日(月) 発送		
一般Ⅰ期入試 社会人Ⅰ期入試	一次 平成30年 2月3日(土)	平成30年 1月9日(火) ～ 平成30年 1月26日(金) (当日消印有効)	(1) 国語総合(古文・漢文除く) (2) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ (3) 数学Ⅰ・A ※社会人は(1)のみ。(2)(3)は免除		平成30年 2月14日(水) 発送
	二次 平成30年 2月12日(月)	面接(一次合格者のみ)			平成30年 2月5日(月) 発送
一般Ⅱ期入試※ 社会人Ⅱ期入試※	平成30年 3月4日(日)	平成30年 2月26日(月) ～ 平成30年 2月28日(水) (当日消印有効)	(1) 国語総合(古文・漢文除く) (2) コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ (3) 数学Ⅰ・A (4) 面接 ※社会人は(1)のみ。(2)(3)は免除		平成29年 3月5日(月) 発送

※一般Ⅱ期・社会人Ⅱ期入試は定員に達した場合、実施しないことがあります。詳細については入試係迄電話にて問い合わせ下さい。  
※一般Ⅰ期・社会人Ⅰ期入試で不合格となった者は一般Ⅱ期・社会人Ⅱ期入試は受験できます。

問合せ先

〒068-0029 岩見沢市9条西3丁目1番地15 TEL0126-25-0300  
URL://www.k.komazawa-iwa.ac.jp